



7月

園だより



文京区立根津幼稚園

豊かな体験を通して育つ

園長 小島 喜代美

梅雨の晴れ間から夏の日差しを感じる頃となりました。早いもので一学期も最後の月となりました。

6月14日(金)にはプール開きを行いました。例年よりも暑い日差しが届くことも多く、子どもたちはプール遊びの経験を多く積み重ねています。根津幼稚園には、金魚の絵が描いてある「金魚プール」があり、石の階段を上って行くと「わー、金魚プールだ」と毎年のように子どもたちの歓声が響いています。プール遊びは約束をしっかりと守らなければ遊べません。一歩間違えると命に係わるため、先生方も真剣です。子どもたちも、先生方との約束を守ってプール遊びを楽しむ姿が見られます。昨年度は水が掛かることが苦手だった子どもたちも、5歳児ほし組になり、プールでの遊びにも積極的です。ダイナミックに潜ったり、宝拾いで顔を水につけたり、友達と力を合わせて流れるプールを楽しんだりしています。一方、初めて金魚プールに入る4歳児はな組は、まだまだ水が掛かることを苦手と感じている子どもたちもいます。担任は、子どもに合わせて遊ぶ場所を分け、少しずつ水と仲良しになれるようにしています。楽しい気持ちから、チャレンジする気持ちへと変化していくことが楽しみです。

さて、5歳児ほし組では、毎年、チャレンジ日舞を行っています。日本の伝統文化である日舞の先生をお招きし、扇を持ってご挨拶や踊り方を教えていただきます。初めは緊張気味の子どもたちも、先生の和服姿や扇、踊りなどに引き込まれていき、先生との距離がどんどん近くなっていきました。日舞は、指先まで意識したり、摺り足で歩いたり、しっかりと足を上げて自分の体を支えたりなど、自分自身の体を意識することを体験する機会にもなっています。扇の持ち方や動かし方が上手くできて、心を弾ませ自分から先生に見せに行く子どもたちがいました。

また、日本コーディネーショントレーニング協会の毛利先生にいらしていただき、様々な動きの体験をしました。「くの字運動」「Sの字運動」「ラディアン」「クローリング」などの動きを交えながら、楽しく遊びました。これらの動きは脳神経に刺激を与え、瞬時に判断して行動する力や柔軟性などを養うことにつながっていきます。昨年度も経験している5歳児ほし組の子どもたちは、周囲の様子を感じ取りながら素早く身をかかわしたり、友達を助けたり、作戦を考えたりなどの姿が見られました。毛利先生の話聞き、素早くリズムカルに動く姿に成長を感じました。はな組の子どもたちも、毛利先生の動きを見ながらまねして動くことを楽しむ姿が見られました。

さて、このところ、摺り足で歩くことや、自分の体を支えて座っていることが難しい子どもたちの姿が気になっていました。コロナ禍で生まれ育ち、経験の不足が心配されている子どもたちです。幼稚園の遊びを通して、体づくりに努めていきます。もちろん、家庭や地域の皆様との連携が必要です。まずは体幹を鍛えるために、いつでもできる動きとして膝を上げ、手を振って歩くことから始めましょう。人生100年時代です。幼児期から経験の積み重ねを大切に、いつまでも生き生きと元気に過ごせるようにしていきましょう。

一学期も本園の教育にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。暑い夏を乗り越え、元気に過ごしましょう。



5歳児チャレンジ日舞 扇を置いてご挨拶



先生の動きをよく見て扇を動かしていました



コーディネーショントレーニング 5歳児は昨年度の体験を思い出して 4歳児は初体験 様々な動きを楽しみました